

平成20年度「小中高 夢のかけ橋推進事業」実施報告書

東京都立豊多摩高等学校

全日制課程

1 計画の概要

平成20年度本校の「小中高 夢のかけ橋推進事業」の取組は、中学校への訪問授業や進路講話などへの本校教員の派遣と公開講座「小中学生のための卓球教室」などを行った。

訪問授業・進路講話については、年度当初より区教育委員会や中学校と日程、内容などの調整を行い、以下の中学校に管理職や教員を派遣し、訪問授業や進路講話・進学説明会などを実施した。

7月 3日 (木) 世田谷区立梅丘中学校	7月 8日 (火) 中野区立中央中学校
7月12日 (土) 杉並区立大宮中学校	7月14日 (月) 杉並区立和泉中学校
7月17日 (木) 中野区立第10中学校	7月18日 (金) 杉並区立天沼中学校
9月 9日 (火) 中野区立第1中学校	9月13日 (土) 杉並区立杉森中学校
12月 1日 (月) 世田谷区立砧南中学校	12月 5日 (金) 世田谷区立山崎中学校

公開講座は、「小中学生のための卓球教室」を11月1日～3日の全3回実施した。

また、吹奏楽部による訪問演奏会を予定している。

2 実施内容

訪問授業の実践例：

- 1 国語・・・「人を感動させる文章の書き方。/古典の基礎。」
- 2 社会・・・「日本史・・・古代史の常識を疑う!？」
- 3 理科・・・「物理・・・静電気を考えよう」
- 4 理科・・・「生物・・・植物の葉は、なぜ緑色か？」
- 5 英語・・・「Enjoy English!」

授業者の感想：中学生は熱心に興味深く聞いてくれた。

中学生の現状や中学校の様子や雰囲気がよく分かった。

中学生へのPRや高校進学への意欲喚起ができたと思う。



3 成果と課題等

【成果】

この事業の成果として次のような報告が寄せられた。

訪問授業・進路講話等では、

- 1 中学校で何をどこまで学習しているのか、中学生が高校の授業に何を期待しているのかが分かった。
- 2 互いに新鮮で充実感のもてる授業ができた。
- 3 中学校の先生方との交流の機会がもてた。
- 4 本校の紹介もできて、学校PRのよい機会となった。

公開講座「小中学生のための卓球教室」(右写真)では、児童・生徒に卓球の技術を向上させるとともに、スポーツに対する姿勢やマナーを身に付けてもらうことができた。

この取組は地域の方に浸透し、毎年来てくれる受講者が増えた。本校に対する理解を深めてもらうことができた実感している。

【課題】

日程の調整が難しいこと。事前準備が十分にできないこと。継続的な交流や事後の指導が難しいこと。

